

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 11 月 11 日

議 会 議 長 様

議席番号 4 番

議員氏名 久 松 祐 樹

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 子どもたちを いじめから守る 体制の強化を	文部科学省より、令和5年度のいじめの認知件数が過去最高の73万2,568件と公表された。前年度比5万620件増である。また、令和6年8月30日に文部科学省より「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」が改訂された。 平時からの学校と設置者の連携不足により対応が遅れた例、事前説明不足により調査開始後保護者とトラブルになる例、重大事態調査報告書から、事実関係の認定や再発防止策が読み取れない例等が存在していることから、ガイドラインを改訂し、重大事態調査への学校や関係者の対応をより明確化、かつ適切な調査の実施及びいじめ対象児童生徒や保護者等に寄り添った対応を促している。 そこで、以下伺う。 (1) 当町の令和5年度と6年度のいじめの認知件数と解消件数は。当町では平成30年に小学校で重大事態が1件発生したが、新たに重大事態は発生していないか。これらに対しての当町の見解を伺う。 (2) 当町では、本改訂の背景となった例のような事例はあるか伺う。また、当町の現状の方針と比べ、何が不十分で、今後どのような対応をしていくのか伺う。 (3) 令和5年12月議会で、杉戸町いじめ防止対策推進条例の制定を提案した。検討や研究の進捗状況を伺う。	町長 副町長 教育長 学校教育課長 担当課長

11月11日 午前・午後 2時40分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 地域活性化の拠点となるアグリパークゆめすぎとへ	令和6年9月議会の決算特別委員会で、上田議員のアグリパークゆめすぎと維持管理事業における経費の回収計画の質問に対する産業振興課長の答弁に「アグリパークゆめすぎとは公共施設であり、農業、商業の振興及び地域活性化を図り、住民の福祉を向上させることを設置目的としております」という内容があった。「令和7年度予算編成方針について」では、重点施策として「アグリパークゆめすぎと観光・交流拠点機能の強化」を掲げている。 そこで、以下伺う。 (1)「住民の福祉向上」とは具体的に何を目指しているのか伺う。 (2)「住民の福祉向上」という意味では、住民税などの減税を行い、物価高で苦しむ「住民の手取りを増やす」ことも立派な「福祉向上」につながると考える。指定管理料を少しであっても減額し、財源として活用することで、住民の減税へとつなげるのはいかがか。 (3)「令和7年度予算編成方針について」にある「更なる来場者数の増加」を目指すためにどのような取組をされていくか伺う。	町長 副町長 産業振興課長 担当課長
3. マイナ保険証活用のリスクは	令和6年12月2日より、新規で紙の健康保険証が発行されなくなった。令和6年9月議会では、資格確認書の問題点や町民が無保険状態に陥ってしまうこともあり得る危険性を指摘した。 そこで、以下伺う。 (1)当町でのマイナ保険証の利用件数と利用率は。また、当町の職員のマイナ保険証の登録状況はどうか。マイナ保険証への移行を拒否した当町の職員が不利益を被る可能性はないか伺う。 (2)現時点において、資格確認書の交付が間に合わず、町民が無保険状態に陥る危険性はあるか伺う。 (3)マイナ保険証も含めて、デジタル技術に過度に依存すると、災害時などでは使えなくなる場合があり、非常に脆弱な体制になり得る。アナログ手法を含む複数手段の用意がリスク分散につながるが、どのように考えるか伺う。	町長 副町長 町民課長 総務課長 デジタル推進室長 担当課長